

第 70 回国民体育大会「2015 紀の国わかやま国体」

奈良県選手団概要

1 選手団総数 361 名

本部役員《27 名》 監督・選手《330 名》

帯同ドクター《4 名》

監督・選手の内訳

監督 《41 名》

選手 成年《182 名》[男子123 名・女子59 名]

少年《107 名》[男子68 名・女子39 名]

2 出場競技数 【正式競技】32 競技

3 団 長 橋 本 隆 史 (はしもと たかし)

公益財団法人奈良県体育協会会長

4 副団長 池 田 誠 也 (いけだ せいや)

公益財団法人奈良県体育協会副会長

副団長 土 佐 忠 雄 (とさ ただお)

公益財団法人奈良県体育協会副会長

副団長 奥 田 喜 則 (おくだ よしのり)

公益財団法人奈良県体育協会副会長

副団長 出 口 武 男 (でぐち たけお)

公益財団法人奈良県体育協会参与

5 総監督 福 井 基 雄 (ふくい もとお)

公益財団法人奈良県体育協会監事

6 旗 手 岡山 一成 (おかやま かずなり) NPO 法人奈良クラブ

サッカー競技 成年男子 選手で出場

7 選手団の特色

(1) 正式37 競技中、バレーボール、ソフトボール、弓道、ラグビーフットボール、アーチェリーを除く32 競技に出場

陸上・水泳(競泳、飛込)・サッカー・テニス・ボート・ホッケー・ボクシング・体操(新体操)・バスケットボール・レスリング・セーリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・フェンシング・柔道・バドミントン・ライフル射撃・剣道・山岳・カヌー・空手道・銃剣道・クレール射撃・なぎなた・ボウリング・ゴルフ競技

(水泳・新体操・セーリング競技は、9/6～9/13 の会期前開催日程で競技会を開催)

(2) 昨年は男女総合成績35位と、十分に力を発揮することができなかった。今年は昨年以上の成績を目指す。

今年度、冬季大会（1競技）終了時点の順位は、男女総合43位（10点）、女子総合37位（10点）である。

(3) 特に期待する競技は、陸上、ホッケー、ボクシング、レスリング、自転車、ソフトテニス、馬術、なぎなた、カヌー、ライフル射撃、空手道の各競技である。

8 結団式当日の日程

日 時 平成27年9月11日（金）

14：00～ 結団式

場 所 奈良市中部公民館 5階 ホール
（奈良市上三条町23-4）

選手宣誓 棚田大志（たなだ たいし）県立奈良情報商業高等学校
[カヌー競技 少年男子 スプリントに出場]

9 参加競技選手の特徴

【正式競技】

陸上競技 《和歌山市》 紀三井寺公園 陸上競技場

主に大学生、高校生からなる若手中心のチームで、昨年度、全日本中学選手権110mハードルで優勝した樋口陸人（ひぐち りくと：奈良育英高校）、が少年Bの100mと110mハードルに出場。ジュニアオリンピック砲丸投げ優勝の三田穂貴（さんた ほたか：大宇陀中学）が少年B砲丸投げに出場。また、全日本学生個人選手権大会110mハードルで優勝した鍵本真啓（かぎもと まさひろ：立命館大学）が出場する。

水泳競技(会期前日程で実施) 《和歌山市》 秋葉山公園県民水泳場

会期前実施競技として9月10日から13日の日程で開催。競泳においては、昨年、成年男子400mで優勝した天井翼（あまい つばさ：東洋大学）と、同じく、昨年50m自由形8位入賞の森元秀（もり もとひで：桜泳会スイミングスクール）が期待される。また少年男子では天理高校の安井健斗（やすい けんと）、勝岡篤史（かつおか あつし）、種村颯太（たねむら そうた）、少年女子では五島美咲（ごとう みさき：香芝北中学）が期待される。

サッカー競技 《橋本市》 橋本市運動公園多目的グラウンド

《紀の川市》 桃源郷運動公園陸上競技場

30年ぶりの出場となり、チームの志気も高まっている。来年、再来年と続くようにチーム一丸となって、優勝を目指す。

テニス競技 《和歌山市》 和歌山市立つつじが丘テニスコート

全種別出場で、成年男子では、仲村元希（なかむら もとき：亜細亜大学）が1回生から国体に代表として出場。ベスト8を目指す。成年女子では、染川 唯（そめかわ ゆい：筑波大学）が1回生から出場。樋口菜穂子（ひぐち なほこ：大阪大学）とともにベスト8位を目標とする。少年男子では、白藤 成（しらふじ なる：西宮甲英高校）と八木優征（やぎ ゆうせい：平城高校）でベスト8を目指す。少年女子では中村天音（なかむら あまね：富雄第3中学）が国体予選で1位となる。山門春香（やまかど はるか：奈良育英高校）とともに8位入賞を目指す。

ボート競技 《滋賀県大津市》 滋賀県立琵琶湖漕艇場

団栗直希（だんぐり なおき）、村田直輝（むらた なおき）両名とも京都大学のボート部に所属する選手で準決勝進出を目指す。

ホッケー競技 《紀美野町》 紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド

《日高町》 マツゲンスポーツグラウンド

成年男子及び成年女子が出場する。成年男子は天理大学の主要選手で構成。7年ぶりの出場ではあるが、日本リーグでは現在3位。成年女子は、南都銀行の主要選手で構成され、定期的・継続的に強化練習を実施している。昨年は2位であったが、今回は8年振り13度目の優勝を目指す。

ボクシング競技 《田辺市》 田辺スポーツパーク体育館

本年度は成年・少年共に本国体出場を果たした。成年では昨年高校で三冠、そして台北カップで金メダルを取った森坂嵐（もりさか あらし）を軸に、ライトフライ級の中嶋優輝（なかじま ゆうき）、バンタム級の中嶋一輝（なかじま かずき）兄弟とミドル級の中村裕矢（なかむら ゆうや）で上位を目指す。少年では、バンタム級の今永虎雅（いまなが たいが）、ライトウェルター級の荒本一成（あらもと いっせい）が共にインターハイで優勝しており、国体でも優勝を目指す。奈良県としては、出場選手全員がポイントを取り、出場都道府県の中で上位を目指す。

新体操競技 《和歌山市》 和歌山ビッグホエール

この競技は会期前実施競技で、9月6日（日）・7日（月）の日程で開催された。新体操においては、5年連続の国体出場となり、個人として国体3年連続出場した上田香穂を中心に、ジュニア時代に全国で活躍をした2名を加え大会に臨み、結果は10位であった。

バスケットボール競技 《和歌山市》 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ

少年女子のみ出場である。少年女子は、奈良文化高校を中心に奈良女子高校、平城高校一条高校で構成するチームである。昨年は5位入賞したが、今年は昨年の選手が1名となり、経験面での不安が残る。まずは初戦の突破を目指す。

レスリング競技 《那智勝浦町》 那智勝浦町体育文化会館

成年男子は、毎年国体入賞実績がある中村淳志（なかむら あつし）など昨年の選手を中心に挑む。少年男子では、平成26・27年度近畿選手権大会のグレコローマン50Kg・60Kg級で優勝した小寺雄大（こでら ゆうた）、上垣勇二（うえがき ゆうじ）及び同じく平成27年度近畿選手権大会グレコローマン74Kg級で優勝した天理教校学園高校の田中真男（たなか まさお）を中心に全体で20点以上の得点獲得を目指す。

セーリング競技 《和歌山市》 和歌山セーリングセンター

会期前実施競技として9月10日（木）から13日（日）の日程で開催。成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の出場である。法隆寺国際高校セーリング部の選手、OBを中心に選手を編成し入賞を目指す。選手のうち成年男子の続木壮良（つづき まさら）と少年女子の続木茄可（つづき なすか）は兄妹で成年監督の続木政光（つづき まさみつ）は父親である。海が無い県ではあるが、積み重ねた練習の成果を発揮し、入賞を目指す。

ウェイトリフティング競技 《和歌山市》 片男波公園健康館

成年男子は、毎年入賞を果たしている菊妻康司（きくづま やすじ）を中心に上位入賞を目指す。木村三徳（きむら ただよし）、小川裕慈（おがわ ゆうじ）、博田明（はかた のりあき）がどれだけ記録を伸ばしていけるか楽しみである。少年男子は榛生昇陽高等学校2名、奈良朱雀高等学校から1名が出場する。3名とも自己記録の更新を目指し、入賞に近づくことを狙う。

ハンドボール競技 《岩出市》 岩出市立体育館

成年女子が出場する。本国体出場は、2006年兵庫県での開催以来。複数の大学と所属が違う社会人の混成チームで、まとまった練習が組みにくい、各自でコンディションの維持に努める。何とか1回戦を突破し、5位入賞を果たしたい。

自転車競技 《印南町》 印南町黒潮フルーツライン特設ロード・レースコース

《和歌山市》 和歌山競輪場

成年男子では鹿屋大学の山本大喜（やまもと まさき）は学生トップのレベルを持ち、吉田隼人（よしだ はやと）、北条顕登（ほうじょう けんと）、南進太郎（みなみ しんたろう）とともにポイントレース、ロード・レース、ケイリン、4Kmチームパーシュートで上位入賞を目指し、さらに総合入賞を目標とする。

少年男子では、JOCジュニアオリンピックカップ優勝、アジア選手権3位、世界選手権出場を果たした安川義道（やすかわ よしみち）をはじめとした榛生昇陽高校4名と奈良北高校との混成メンバーでチームを編成し、上位の入賞を目指す。

ソフトテニス競技 《白浜町》 白浜町テニスコート

成年男子と女子及び少年男子が出場する。成年男子は昨年準優勝メンバーが4名残るが、今年度からシングルスが導入され、戦力的に厳しい。ベスト8を目指す。成年女子は、予選において得失点差で勝ち上がり、この勢いで一丸となって本大会に望み、ベスト8を目指す。少年男子では、インターハイでは団体戦でベスト8に終わったため、国体では優勝を目指したい。

卓球競技 《白浜町》 白浜町立総合体育館及び白浜会館

成年女子と少年男子が出場する。成年女子は関西の大学生のチームで挑む。立命館大学の山内麻祐子（やまうち まゆこ）は本年関西学生卓球選手権大会で個人優勝を果たし、また同志社大学の政本ひかり（まさもと ひかり）が同学生卓球選手権大会のダブルスで2位となっている。全員が大学生で大学リーグ戦との兼ね合いもあり、モチベーションが高く、ベスト16以上を目指す。少年男子は、昨年近畿中学で個人2位の成績をあげた奈良学園高校の亀田智士（かめだ さとし）が加わり、予選リーグで2位以内を目指す

軟式野球競技 《有田市ほか5市町》

投手を中心とした守りのチームで、試合感覚を養うために強化試合を取り入れ調整してきた。対戦相手に関わらず、常に自分たちの「守りの野球」を展開し、優勝を目指す。

相撲競技 《和歌山市》 県営相撲競技場

成年男子は、社会人2名と大学生1名の構成である。少年男子は、御所実業高校と奈良大学附属高校とのチームである。全員一丸となり入賞を目指す。

馬術競技 《兵庫県三木市》 三木ホースランドパーク

選手全員が全日本大会出場経験者でその豊かな経験と馬がそろい、各選手とも順調に仕上がっている。個人全員8位以内を目指す。

フェンシング競技 《和歌山市》 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ

成年男子の出場である。社会人3名の構成チームである。エペ種目では3回戦突破を目指し、フルールでは2回戦突破を目標としている。

柔道競技 《和歌山市》 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ

成年男子、少年男子が出場する。成年男子は、大学生、社会人、教員で構成し、3位入賞を目指す。少年男子は高校選手権大会81Kg級2位の笠原選手を擁する天理高校5名で臨み、上位進出を目指す。

バドミントン競技 《岩出市》 岩出市立市民総合体育館

成年女子の出場である。全日本学生選手権女子シングルスでベスト16の実績を有する山崎絢子（やまざき あやこ）と田中瑞穂（たなか みずほ）、辻田真希（つじた まき：龍谷大学）の3名のチームが出場。本大会ではベストパフォーマンスを発揮してベスト8を目指す。

ライフル射撃競技 《海南市》 和歌山県ライフル射撃場及び県立貴志川高等学校体育館及び和歌山県警察学校訓練場

全種別に出場する。成年の部においては、山本将之（やまもと まさゆき）、中西公光（なかにし まさみつ）などの国体経験者を中心に上位入賞を目指す。少年男子では、昨年優勝の長部谷響（ちょうべや きょう）を中心とした山辺高校ライフル射撃部で構成。昨年に比べ近畿ブロック通過者が倍増し、国体入賞者の先輩を目標に、決勝進出を目指す。

剣道競技 《那智勝浦町》 那智勝浦町体育文化会館

成年男子の出場である。成年男子は、遠征・強化合宿を重ね、上位入賞を目指す。

山岳競技 《みなべ町》 県立南部高等学校及びみなべ町立南部小学校体育館特設会場

成年男子の出場である。成年男子は昨年度より選手が1人変わり、新たなチームで挑む。予選通過を目指す。

カヌー競技 《日高川町》 日高川町美山漕艇場

少年男子の出場である。棚田大志（たなだ たいし：奈良情報商業高校）は今年度全国インターハイカヤックシングル500m準優勝。2015世界カヌースプリントジュニア選手権大会に日本代表として出場。本国体では優勝を目指す。

空手道競技 《白浜町》 白浜町総合体育館

全種別の出場である。少年女子で昨年（形）で3位、インターハイ（組手）2位であった佐尾瑠衣花（さお るいか）、また昨年（組手）重量級3位となった岡本啓汰（おかもと けいた）に期待。少年女子で2種目入賞、少年男子（形）・（組手）重量級で入賞を目指す。さらに団体戦においても入賞を目指す。

銃剣道競技 《海南市》 海南市総合体育館

成年男子の出場である。チームは自衛官3名で編成されており、本大会での入賞を目指して錬磨中である。

クレー射撃競技 《神奈川県伊勢原市》 神奈川県立伊勢原射撃場

成年男子の出場である。東京国体トラップ4位のメンバーと同じで、本大会も上位入賞を目指す。

なぎなた競技 《九度山町》 九度山文化スポーツセンター

成年女子と少年女子の出場である。成年女子は、昨年同様大学生3名の若手の構成で、昨年演技3位、団体7位の成績を収めている。国体経験者を中心に上位入賞を目指す。少年女子は3年生2名、1年生1名で構成されたチームである。中堅は昨年度国体の演技で5位であった。演技、試合とも上位入賞を目指す。

ボウリング競技 《岩出市》 紀の川ボウル

少年女子の出場である。近畿ブロックの個人戦では松永華穂（まつなが かほ：奈良文化高等学校）が2位、前土佐 風（まえとさ なぎ：添上高校）が7位の成績であった。団体戦では、京都に6ポイントの差を付け1位となった。初の出場であるが8位入賞を目指す。

ゴルフ競技 成年男子《印南市》 ラ・グレースゴルフ倶楽部・和歌山コース

女 子《印南町》 いなみカントリークラブフジ
少年男子《かつらぎ町》 紀伊高原ゴルフクラブ

全種別での出場である。成年男子は、本県の国体過去最高の15位以内を目指す。女子では、同じく12位以内を目指し、少年男子は8位入賞を目指す。

10 参考資料

第70回国民体育大会「2015紀の国わかやま国体」本大会の概要

① 開催地

和歌山県内13市12町1村(県外4市含む)

《開会式》和歌山県紀三井寺公園 陸上競技場（和歌山市）

《閉会式》和歌山県紀三井寺公園 陸上競技場（和歌山市）

② 期 間

平成27年9月26日（土）～10月6日（火）

③ 愛称・スローガン

【愛 称】

2015紀の国わかやま国体

「紀の国」は、万葉の時代より和歌山を表す言葉として使われてきた言葉で、今も県民に親しまれ、様々な場面で使われています。

「紀の国」を愛称に付けることで、国体の開催を広く県民に浸透させるとともに、「紀の国」の名を全国に発信します。

【スローガン】

躍動と歓喜、そして絆

活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会に参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目指すことをイメージしています。

《参 考》

回数	大会名	参加人員（60回までは秋季大会のみ）	天皇杯
39	わかくさ国体	816人（役員25人、監督選手791人）	1位
40	わかとり国体	431人（役員16人、監督選手415人）	13位
41	かいじ国体	393人（役員20人、監督選手373人）	13位
42	海邦国体	368人（役員20人、監督選手348人）	12位
43	京都国体	381人（役員20人、監督選手361人）	23位
44	はまなす国体	335人（役員20人、監督選手315人）	30位
45	とびうめ国体	338人（役員20人、監督選手318人）	28位
46	石川国体	339人（役員20人、監督選手319人）	27位
47	べにばな国体	357人（役員20人、監督選手337人）	34位
48	東四国国体	369人（役員20人、監督選手349人）	27位
49	わかしゃち国体	388人（役員20人、監督選手368人）	26位
50	ふくしま国体	367人（役員20人、監督選手347人）	31位
51	ひろしま国体	370人（役員20人、監督選手350人）	31位

5 2	なみはや国体	4 4 5 人（役員 20 人、監督選手 425 人）	2 7 位
5 3	かながわ・ゆめ国体	3 9 2 人（役員 20 人、監督選手 372 人）	3 3 位
5 4	くまもと未来国体	3 9 8 人（役員 24 人、監督選手 374 人）	3 8 位
5 5	2000 年とやま国体	3 4 0 人（役員 23 人、監督選手 312 人） （スポーツドクター5 人）	3 0 位
5 6	新世紀・みやぎ国体	4 1 6 人（役員 27 人、監督選手 384 人） （スポーツドクター5 人）	3 3 位
5 7	よさこい高知国体	3 6 7 人（役員 22 人、監督選手 340 人） （スポーツドクター5 人）	3 5 位
5 8	NEW!!わかふじ国体	3 5 6 人（役員 20 人、監督選手 332 人） （スポーツドクター4 人）	2 9 位
5 9	彩の国まごころ国体	3 5 5 人（役員 20 人、監督選手 330 人） （スポーツドクター5 人）	3 7 位
6 0	晴れの国おかやま国体	3 6 8 人（役員 23 人、監督選手 340 人） （スポーツドクター5 人）	3 2 位
6 1	のじぎく兵庫国体	5 3 1 人（役員 31 人、監督選手 496 人） （スポーツドクター4 人）	2 5 位
6 2	秋田わか杉国体	4 4 4 人（役員 31 人、監督選手 40 9 人） （スポーツドクター4 人）	2 8 位
6 3	チャレンジ大分国体	3 6 3 人（役員 31 人、監督選手 3 2 8 人） （スポーツドクター4 人）	3 3 位
6 4	トキめき新潟国体	3 4 8 人（役員 30 人、監督選手 314 人） （スポーツドクター4 人）	3 3 位
6 5	ゆめ半島千葉国体	4 0 7 人（役員 30 人、監督選手 3 7 3 人） （スポーツドクター4 人）	3 5 位
6 6	おいでませ！山口国体	3 5 8 人（役員 2 9 人、監督選手 3 2 5 人） （スポーツドクター4 人）	3 5 位
6 7	ぎふ清流国体	3 5 2 人（役員 2 9 人、監督選手 3 1 9 人） （スポーツドクター4 人）	3 5 位
6 8	スポーツ祭東京 2 0 1 3	3 7 2 人（役員 2 8 人、監督選手 3 3 8 人） （スポーツドクター6 人）	3 7 位
6 9	長崎がんばらんば国体	3 3 4 人（役員 2 7 人、監督選手 3 1 1 人） （スポーツドクター6 人）	3 5 位